

この祝賀会でハート、マインド、スピリットをひとつに



ホセ神父
(フィリピン宣教会)

すべてのお祝いには感謝祭が必要です。私たちは贈り物そのものに感謝するだけでなく、贈り物を与えてくださる神さまにもっと感謝しています。神さまこそが私たちがお祝いをする理由です。カトリック大和郡山教会の奉獻70周年に、心からのご挨拶と心からのお祝いを申し上げます。これは、私たちが信仰、奉仕、コミュニティで一つになって70年を祝う、本当に大きな喜びと感謝の瞬間です。

すべてのお祝いにはドラマがあり、その背後には物語があります。私たちのお祝いは楽しいものかもしれませんが、準備の間、私たちのお祝いを可能にするために仕え、苦しみ、犠牲を払う多くの人々が背後にいます。また、この教区で奉仕していた以前の司祭や、別の場所に引っ越した

か、すでに去った家族や地域社会のメンバーのことも覚えています。彼らは私たちの教区の一部になりました。奈良地区にいた時、皆さんと過ごした時間を今でも覚えています。喜びと悲しみ、浮き沈みをあなた方と共有しました。司祭職の初期に奉仕をしたことが、今の私を形作るのに役立ちました。私は別の種類の司牧を行っていますが、私の宣教経験は、神学校の担当者として今に役立つツールでもあります。今どこにいても、離れていても、私たちは未だつながりを持っています。私たちは教会と頭であるイエス・キリストという一つの体です。

皆様、創立70周年おめでとうございます。私の思いと祈りの中に、あなた方を思い出しています。

郡山教会の語学の先生方に感謝

カトリック大和郡山教会の奉獻70周年に、心からのご挨拶と心からのお祝いを申し上げます。

それに伴い、私が大和郡山教会で体験した美しい体験をいくつかご紹介したいと思います。それは、私が日本語でミサ聖杯を捧げる方法を学び

始めた日本で最初のカトリック教会の一つでした。最初は、言葉に苦労し、間違えるのではないかと心配していました。しかし、私は忍耐強く改善を助けてくれる親切で協力的な信者に囲まれていたことに恵まれていました。ミサが終わるたびに、郡山教会の先生方が私の日本語の発音を優しく



アントニオ神父
(フィリピン宣教会)

直してくれました。本当にありがとうございました。きっかけで発音が格段に良くなりました。

長年にわたり、私にとってこの教会は、日本人と国際社会の多くの人々の希望と家として立ってきました。それは数え切れないほどの祈り、秘跡、そして愛の行為を目撃してきましたが、それらはすべてキリストの教えに根ざしています。この祝賀会が過去を称えるだけでなく、これからの世代のために教会の使命に対する新たなコミットメントを鼓舞し

ますように。神様がこれからも大和郡山教会とそのすべての信徒たちを平和と一致、そして豊かな恵みで祝福してくださいますように。

来日して最初のミサは郡山教会



ブルース神父
(フィリピン宣教会)

郡山教会での時間は私にとって大きな恵みでした。信者さんのみなさんは親切で、温かく迎えてくださいました。

実は、私が最初にミサをささげたのも、初めて聖週間と復活祭を祝ったのも、郡山教会でした。

毎週水曜日のノベナと分かち合いの食事は、私の心を励ましてくれました。

郡山教会70周年、おめでとうございませう！

これからも、多くの人々の心が神さまへと引き寄せられますように